

## 主体的学習者育成プログラム - 問題発見編 -

学年・組		氏名	
------	--	----	--

## 1. プログラムの目的

【問】いま社会が求めているのは、どのような力を持った人だと思いますか？

(解説メモ)

下記の調査結果によると、40・30代の方が入社した当時は

- ・ 自ら考え行動できる人の方が、指示されたことだけをやる人よりも多く、
- ・ 仕事におけるコミュニケーション能力にたけている人の方が、職場においてコミュニケーションをうまく図れない人よりも多く、
- ・ 失敗や困難があってもやり遂げようとする意思が強い人の方が、失敗したり困難な仕事に直面したりすると自信を失ってしまう人よりも多かったことがわかります。一方、20代が入社した時には、これらが逆転しています。

## 【各世代の入社時の資質】

	40代	30代	20代
自ら考え行動することができる	56%	32%	7%
指示されたことだけをやっている	10%	17%	56%
仕事におけるコミュニケーション能力にたけている	56%	38%	13%
職場においてコミュニケーションをうまく図れない	5%	9%	37%
失敗や困難があってもやり遂げようとする意思が強い	62%	36%	9%
失敗したり困難な仕事に直面したりすると自信を失ってしまう	6%	13%	44%

出所:労働政策研究・研修機構「入職初期のキャリア形成と世代間コミュニケーションに関する調査」(2011)

いま社会が求めているのは、

- ①自ら考え行動することができる = 主体性
- ②仕事におけるコミュニケーション能力にたけている = 協働力

③失敗や困難があってもやり遂げようとする意思が強い=やり抜く力を有する人です。

本日のプログラムでは、主体性に着目し、学習において自ら考え行動できる人（主体的学習者）になるためのトレーニングを行なっていきます。

## 2. 主体的学習者とは？

(1) 自ら考え	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 世の中の事象を、問題意識をもって観察することができる</li> <li>• 観察によって得られた気づきを多様な視点から解釈できる</li> </ul>	問題発見
(2) 自ら行動できる人	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 解釈を踏まえて問題解決のアイデアを発想できる</li> </ul>	問題解決

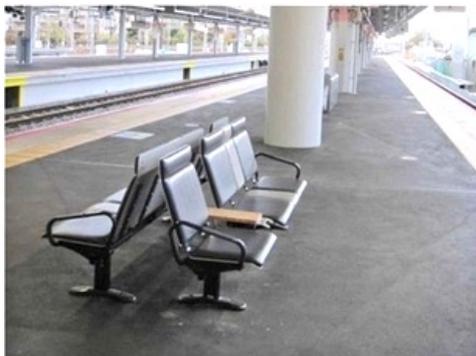
## 3. 本日のプログラム

時間	プログラム
10分	1. プログラムの目的 ~いま社会が求めている人は？ 2. 主体的学習者とは 3. 本日のプログラム
10分	4. ウォーミングアップクイズ 日常風景から困りごとを発見し、解決した商品・サービスに関するクイズ
5分	5. 主体的学習者診断テスト①
10分	( 休 憩 )
60分	6. 問題発見ケーススタディ「食生活実態調査」
15分	7. 本日のまとめ ~問題意識を育むためにできること 8. 参考文献 9. 振り返りシート, 主体的学習者診断テスト②

#### 4. ウォーミングアップクイズ

【問1】JR西日本では、駅ホーム上の「ベンチの向き」を変更しました。なぜでしょう？

[変更前]



[変更後]



出所：http://www.gizmodo.jp/2015/04/jr\_150401.html

(解説メモ)

【問2】運動靴・アキレスの「瞬足」の商品の特徴は、左右非対称ソールという構造です。この構造は小学生のあるニーズを満たすために開発されました。そのニーズとはどのようなもののでしょうか？



出所：http://www.syunsoku.jp/about/function/asymmetry/

(解説メモ)

【問3】ある医療機器メーカーが、検査装置（MRI）をペイントしました。なぜでしょう？

[ペイント前]



[ペイント後]



出所： <http://urashima-medical.com/ct/> , [http://www.sexymamy.pl/Tomograf-jak-piracki-statek-w-nowojorskim-szpitalu\\_s1987](http://www.sexymamy.pl/Tomograf-jak-piracki-statek-w-nowojorskim-szpitalu_s1987)

(解説メモ)

【問4】3つの例の共通点は？

(解説メモ)

【アドバイス】 探究学習に向けて①

1. 唯一絶対の答えはない
2. 常識や前例にとらわれない
3. 自分にもできる！

5. 主体的学習者診断テスト①

- みなさんが日ごろ、どの程度、世の中の事象に関心を示し、問題意識をもって観察しているか自己診断してみましょう。【資料 02】
- 回答したら、提出してください。
- プログラム終了後、もう一度診断テストをします。自分にどのような変化が起こるか楽しみにしててください！

6. 問題発見ケーススタディ「食生活実態調査」

【状況設定】

1. みなさんは人々の生活実態について調査研究する『生活科学研究所』の研究者です。
2. 現在、子ども（小・中学生）の食生活の実態について調査しています。
3. 調査の一環で、ある家族の朝食と夕食の風景を撮影してきました。
4. これから、撮影した写真をもとに子どもの食生活の実態について意見交換をすることになっています。

【撮影に協力いただいた家族の状況】

父：45歳，会社員　長男：中学2年生，サッカー部

母：42歳，パート　次男：小学3年生

1. 夫婦共働き
2. 父の帰宅は遅いため、家族全員が揃って夕食をとることは週に1,2回程度。
3. 長男は朝練（部活）があるため、一人で先に朝食を食べ出かけてしまう。塾がある日（火曜,木曜）はコンビニ弁当などで夕食を済ますことが多い。
4. 次男も塾がある日（金曜）は夕飯を一人で食べる人が多い。

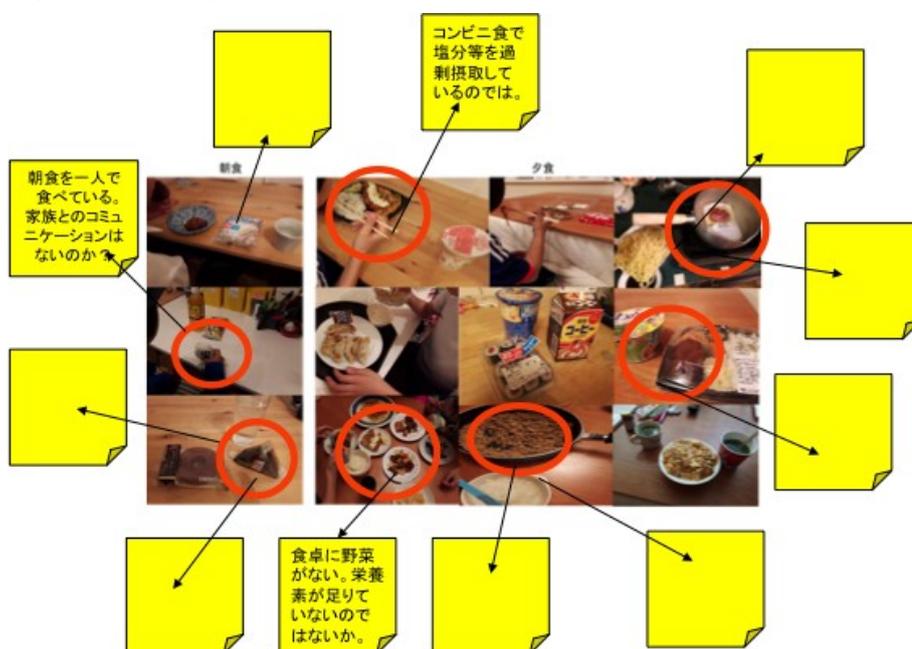
【演習の準備】

1 グループ1枚、ある家庭の朝食と夕食の風景写真つきの模造紙を受け取ってください。

【演習①】 15 分間

1. 写真を見て??と思ったところに○をつけてください。
2. グループで話し合いながら、気づいた点、問題だと思った点、疑問に思った点などを付箋に書き出してください。

(作業イメージ)



【演習②】 10 分間

他のグループの模造紙を歩いて見に行ってください。他のグループの付箋からヒントを得て、自分のグループの模造紙に付箋を書き足してください。

【演習③】 説明 5 分間 + 演習 10 分間

1. みなさんは、以下の3つの分野のいずれかの専門家です。グループ内で各人の役割を決めてください。ただし、グループ内に A,B,C の専門家が最低 1 人いることが必要です (A の専門家がいらないなどは不可)。  
A. 栄養学 B. 環境学 C. 教育学

2. 自分が担当する専門家の視点から、改めて①状況設定 ②撮影に協力いただいた家族の状況をよく読んで、③写真をよく見て、気づいた点、問題だと思った点、疑問に思った点などを付箋に書き出してください。

専門家	専門の内容など
A. 栄養学	<ul style="list-style-type: none"> <li>• あなたは栄養学の専門家です。</li> <li>• 栄養に関する高度な専門知識と技術を持ち、個人の身体の状況や栄養状態に応じた食事指導などを行っています。</li> <li>• 現在、子どもの約6割に野菜の好き嫌いがあり、朝食を食べない子どもが増えています。</li> <li>• 日本では、肥満傾向にある子どもが増加しつつあります。</li> </ul>
B. 環境学	<ul style="list-style-type: none"> <li>• あなたは環境学の専門家です。</li> <li>• 環境学は、人間を取り巻く環境と、環境が人間や動植物に与える影響について探究する学問です。</li> <li>• 近年は、日本の食料自給率低下や食品廃棄の問題に注目して研究しています。</li> <li>• 日本の食料自給率は年々低下し、現在は約40%*で、先進国の中で最低の水準です。 *カロリーベース総合食料自給率（平成27年度）</li> <li>• 日本で、本来食べられるのに廃棄されているもの（食品ロス）は年間500-800万トンと推計されており、日本のコメ収穫量に匹敵する量です。</li> </ul>
C. 教育学	<ul style="list-style-type: none"> <li>• あなたは教育学の専門家です。</li> <li>• 教育学は、人間の教育をめぐるあらゆる事象を取り上げ、教育のあり方を探究する学問です。</li> <li>• 近年は、子どもの食習慣と学力の関係、子どもの孤食に注目して研究しています。</li> <li>• 毎日朝食を食べる子どもほど、学力調査の結果が良いというデータがあります。</li> <li>• 現在、朝食を子どもだけで食べる比率は4割を超えています。塾に通う子どものうち4人に1人は夜9時以降に帰宅しています。</li> </ul>

**【発表】** 10分間

- 数グループに、どのような点に気づいたか、問題だと思ったか、疑問に思ったかを発表してもらいます。
- 数名の人に、演習を通して気づいた点、探究学習に臨む際に注意しようと思った点などを発表してもらいます。

【ケーススタディの振り返り】5分間

専門家として写真を見る体験

↓ 専門家=特定の問題意識を持つ人

問題意識を持って観察するからこそ、はじめて見えてくるものがある

↓ もっと知りたい, もっと分きたいという探究心が芽生える

主体的学習者

7. 本日のまとめ

【主体的学習者とは?】

(1) 自ら考え	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 世の中の事象を、<b>問題意識</b>をもって観察することができる</li> <li>• 観察によって得られた気づきを多様な視点から解釈できる</li> </ul>	問題発見
(2) 自ら行動できる人	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 解釈を踏まえて問題解決のアイデアを発想できる</li> </ul>	問題解決

→問題意識 = 自らの視点を持つことが主体的学習者になるための起点

→ 主体的学習を積み重ね、みんなが（社会が求めているような）自ら考え行動できる人になってくれることが、探究学習の目的です。

【問題意識を育むためにできること】

- 何気ない日常的な事象でも「なぜだろう?」と考える癖をつける
- 様々なジャンルの知識・情報に触れ、世の中の事象を解釈するための視点を得る
- 自分自身や社会に対して、ありたい姿・あるべき姿を思い描くようにする

【アドバイス】探究学習に向けて②

1. 唯一絶対の答えはない
2. 常識や前例にとらわれない
3. 自分にもできる!
4. 比較しない
5. Think ⇔ Share
6. 悩んだら動け! 悩んだら学べ!

## 8. 参考書籍

自身の問題意識、観察力、探究心、問題発見力に課題を感じた人、さらに学習を深めたい人に、以下の書籍をお薦めします。

- (1) 好井裕明 『「あたり前」を疑う社会学 質的調査のセンス』 光文社新書
- (2) 好井裕明 『「今、ここ」から考える社会学』 ちくまプリマー新書
- (3) アキレス株式会社「瞬足」開発チーム 『開発チームは、なぜ最強ブランド「瞬足」を生み出したのか?』 ユーキャン出版



## 9. 振り返りシート、主体的学習者診断テスト②

- (1) 振り返りシート 【資料03】

本日のプログラムを通じて、気づいたこと、考えたことを自由に記述してください。

- (2) 主体的学習者診断テスト② 【資料04】

本日のプログラムを通じて、自分自身にどのような変化が生じたのかを知るため、再び主体的学習者診断テストに回答してください。

以 上